

令和 5 年度 下 半 期 指 定 管 理 者 管 理 運 営 状 況 シ ー ト

●施設の概要

施設名	日光児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市日光町9丁目1番3号		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,107,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建のうち1階の一部 ◇敷地面積:3,001.55㎡ ◇延床面積:370.16㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、集会室、事務室、 駐車場(日光コミュニティセンター駐車場と共有) ※日光コミュニティセンター、日光事務所との合築		

●利用状況

		R5下半期	R5上半期	R4下半期	R4上半期	R3下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	11,733	11,945	8,577	9,158	6,924
	移動児童館利用者数	244	321	297	215	148
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※9(4)	※9(4)	※9(4)	※7(3)	※6(4)
	開館日数(単位:日)	151	155	151	155	151

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①計画通り実施しました。 ②所長1名、職員2名の3名を配置しました。 (うち保育資格2名 児童厚生員3名) ③「児童用おたより」の発行-16か所に配布しました (小学校5校区、幼稚園、保育所、中学校、特別支援学校、コミュニティセンター) 「幼児用おたより」の発行-11か所に配布しました。(幼稚園、保育所、中学校、特別支援学校、コミュニティセンター) ホームページはスマートフォンにも対応し、市民の皆様へのお知らせやブログも用いてタイムリーで分かりやすく配信しました。 また、当岐阜市社会福祉事業団が管理している他の8施設のホームページとリンクを貼り、他館の情報も入手しやすくなりました。 気象警報発令時などの情報は、迅速にホームページにUPしました。 ④ご意見箱を設置し利用者からのご意見・ご要望をいただける体制としました。また児童・保護者を対象にアンケートを年2回実施しました。(下半期1回) 苦情・クレームについてはマニュアルに従って対応しました。 意見・アンケート調査結果は館内に掲示するとともに、改善できるものは迅速に対応しました。 また、日頃から利用者とコミュニケーションをとり、話しやすい雰囲気作りを心がけました。 ⑤仕様書・事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		

施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①管理者点検マニュアルにもとづき保守点検を適切に実施しました。 ②幼児室に口に入れた物を入れる箱を作りアルコール消毒を実施しました。トイレの便座、洗面所を1日3回アルコール消毒を実施しました。 就労継続支援B型事業所清掃班による清掃を実施しました。 業者による窓ふき・ワックスがけを行いました。 ③未使用の部屋の電気、エアコン等スイッチを切り、適切な温度設定、フィルター清掃などを行い節電に努めました。また、ペットボトル及び牛乳パックなどの廃材を事業に活用するなど環境に配慮した施設運営に心がけました。 おもちゃや本の寄付があり、きれいにしてリサイクル活用しました。 ④月1回の職員による施設の安全点検・遊具点検、月2回のAED器具の機能確認、毎日の消毒、清掃を行い、遊具、玩具、設備、備品の維持管理に努めました。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①緊急性のあるものは、岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に即時報告して判断を仰ぎました。 また日頃から職員が点検を行いました。 ②大規模な修繕については指定管理者(本部)並びに岐阜市に要望を提出しました。 故障した玩具などはおもちゃ病院に修繕していただきました。(下半期35個修繕していただきました)
危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害対策マニュアル、児童福祉法等関係法令を遵守し適切に実施しました。 災害や事故等が発生した場合には、岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ迅速に報告する体制を構築しました。 個人情報が記載された用紙は厳重に管理し、使用后シュレッダー処理を行い個人情報の漏洩防止を徹底しました。 消防訓練を2回実施しました。 12月にコミュニティーセンターと日光事務所と利用者合同で行いました。 3月に児童センターと利用者で行いました。 職員間で災害に対しての話しをし、利用者に安全に利用していただけるよう確認を行いました。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和6年1月5日～令和6年2月29日 回答者数: 100人 <小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和6年1月5日～令和6年2月29日 回答者数: 100人(小学: 1年14人、2年29人、3年6人、4年14人、5年9人、6年5人) (中学: 1年6人、2年8人、3年3人)(高校: 1年1人、2年0人、3年0人)無回答: 5人
利用者アンケートの実施結果	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 【校区】 則武(29人)、早田(15人)、島(14人)、城西(13人)、長良東(4人)、鷺山(4人)、木田(4人)、鏡島(2人)、黒野(2人)、加納(2人)、岐阜(2人)、その他市内(7人)、その他市外(1人)、無回答(1人) 【年齢】 10代(0%)、20代(10%)、30代(69%)、40代(16%)、50代以上(5%) 【利用頻度】 初めて(17%)、ほぼ毎日(0%)、週2～3回(3%)、週1回(13%)、2週に1回(24%)、月1回(32%)、その他(11%) 【来館相手】 子(78%)、孫(6%)、友人(4%)、その他(6%)、無回答(6%) 【子・孫の年齢】 0歳(18%)、1歳(18%)、2歳(18%)、3歳以上(31%)、小学1年(4%)、小学2年(4%)、小学3年(2%)、小学4年(2%)、小学5年(1%)、小学6年(1%)、その他(1%) 【来館方法】 徒歩(14%)、自転車(1%)、自家用車(84%)、公共交通機関(1%) 【何で知った】 ホームページ(29%)、広報紙・チラシ(2%)、学校(4%)、保育所・幼稚園(3%)、知人・友人(37%)、ぎふし子育て応援アプリ(5%)、ソーシャルメディア(1%)、その他(16%)、無回答(3%) 【評価】 (あいさつ) 満足(90%)、ほぼ満足(7%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(1%) (言葉づかい) 満足(91%)、ほぼ満足(6%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(1%) (利用者対応) 満足(89%)、ほぼ満足(8%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(1%) (利用しやすさ) 満足(81%)、ほぼ満足(13%)、普通(5%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(1%) (整理整頓) 満足(86%)、ほぼ満足(9%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(1%) (清潔感) 満足(82%)、ほぼ満足(12%)、普通(5%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(1%) (換気) 満足(85%)、ほぼ満足(9%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(2%)

	<小・中・高校生用アンケート> 【学校名】 則武小(46人)、城西小(15人)、岐阜清流中(15人)、早田小(7人)、島小(5人)、西郷小(3人)、島中(2人)、その他市内(2人)、その他市外(3人)、無回答(2人) 【学年】 小学: 1年(14%)、2年(29%)、3年(6%)、4年(14%)、5年(9%)、6年(5%) 中学: 1年(6%)、2年(8%)、3年(3%) 高校: 1年(1%)、2年(0%)、3年(0%)、無回答(5%) 【利用頻度】 初めて(5%)、毎日(6%)、週4・5回(11%)、週2・3回(22%)、週1回(15%)、その他(39%)、無回答(2%) 【来館相手】 ひとり(17%)、友人(43%)、兄弟姉妹(14%)、父母(18%)、祖父母(1%)、親戚(3%)、その他(4%) 【来館方法】 徒歩(27%)、自転車(32%)、自家用車(38%)、バス・電車(1%)、その他(1%)、無回答(1%) 【好きな遊び】 パトミントン(10%)、ドッジボール(10%)、ぬりえ(8%)、ボードゲーム(6%)、カラム(5%)、なわとび(5%)、オセロ(5%)、プラズマカー(5%)、その他(46%)
利用者からの 要望・苦情と 対処・改善	<保護者> おもちゃがあるとのお楽しみします。 →ご意見ありがとうございます。おもちゃを購入する時に参考にさせていただきます。良い玩具を教えていただければ嬉しいです。 ・トイレの便座が冷たいので改善して頂けるとありがたいです。 →ご意見ありがとうございます。児童センターでは決められないのでご要望があったことを伝えさせていただきますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。 ・幼児のおやつを食べるスペースがあるとありがたいです。 →ご意見ありがとうございます。平日ですが12時～13時の間遊戯室で昼食を食べていただくことができます。そちらの時間を利用していただけるとありがたいです。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。 ・0、1、2歳専用の部屋がもう少し広いと良い。荷物が置ける棚を部屋の中に作ってほしい→特に0、1、2歳の部屋 →ご意見ありがとうございます。幼児室が狭くて申し訳ありませんが広くすることはできませんのでご理解のほどよろしくお願いいたします。 荷物用棚は幼児室に無いのでご不便をおかけしています。幼児室に棚を置くスペースが無いので廊下にある鍵付きのロッカーを利用していただきますようよろしくお願いいたします。ご不便をおかけいたしますがご理解の程よろしくお願いいたします。 ・たまに中学生ぐらいの男の子たちが大声で叫んでいることがあるので子どももびっくりしてこわいと感じる時があります。それ以外は問題なく楽しく利用させてもらっています。 ・怖い思いをさせてしまい申し訳ありません。注意はしていますが遊びが盛り上がりすぎて大声でしてしまうこともあるようです。誰もが楽しく過ごせるよう中学生の子どもたちには児童センターの利用の仕方を指導していきます。図書学習室は0歳～18歳までが遊べるお部屋になっておりますのでご迷惑をおかけすることもあると思いますがご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。恐いと感じることがありましたらすぐに教えてください。ご意見ありがとうございました。 ・おもちゃの電池がない時があるので入れて頂きたいです。 →ご迷惑をおかけして申し訳ありません。電池が無くなった時は入れ替えるようにしておりますが、気が付かないこともありますので教えていただけたらすぐに交換いたします。お手数をおかけいたしますがよろしくお願いいたします。ご意見ありがとうございました。 ・兄弟で利用の際、下の子が幼児でも保護者がいなくても遊べると嬉しいです。 →ご意見ありがとうございます。幼児さんは保護者と一緒に利用していただくことになっておりますのでご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。 ・今後も積極的に新しいおもちゃを入れてほしい。 →ご意見ありがとうございます。みなさんに喜んでいただける楽しい玩具を増やしていきたいと思っております。 <児童> ・休みながいいい・月曜日もやってほしい →ご意見ありがとうございます。月曜日は児童センターのお休みの日となっているのでごめんなさい。でも児童センターが大好きなんだなと思うととっても嬉しく思います。いつも遊びに来てくれてありがとう。 ・お菓子や食べ物の中で食べれるようにしてほしい →ご意見ありがとうございます。気持ちはとてもよくわかります。でもこぼれたお菓子を小さい子が食べてしまいのどに詰まったり、アレルギーの子が食べてしまうといけないので、中で食べることはできません。ごめんなね。 ・WIFIがほしい →ご意見ありがとうございます。児童センターでは決められないのでご要望があったことを伝えさせていただきますね。 ・遊戯室で赤ちゃんとあそびたい →ご意見ありがとうございます。赤ちゃん可愛いよね。遊びたい気持ちわかります。行事で出来たら良いですね。職員で考えてみますね。 ・自分だけはいいい、他人はだめと思う人がいる 自分勝手な人がいる →ご意見ありがとうございます。嫌な気持ちにさせてしまいごめんなさい。困った時はすぐ職員に話してくださいね。解決して楽しい時間が過ごせるように考えていきます。 ・うるさい子に静かにしてほしい →ご迷惑をおかけしてすみませんでした。静かに過ごしてもらうことが出来なくてごめんなさい。職員が注意し呼びかけていきますのでこれからも遊びに来てくださいね。 ・月曜日は遊べるようにして土曜日から曜日を休みにしてほしい →ご意見ありがとうございます。児童センターでは決められないのでご要望があったことを伝えさせていただきますね。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	S	S	S
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業（行事）等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	S	S	S
		⑤利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備の整備など）	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施（リサイクルやリユース、節水・節電など）	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員（施設が児童センターの場合は体育指導員）を1人以上配置（このうち最低1人は常勤職員とすること）	A	A	A
		⑪スタッフ（採用予定者も含む）の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ（採用予定者も含む）の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理（リスク）や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	S	S	S
		区分評価				S
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）、地元住民の活用（雇用又はボランティア等）	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加（地元行事への参加）又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価

「利用者アンケートの実施(公平性・透明性①)」

利用者アンケートの実施

- ・実施回数:1回(1月～2月に実施)
- ・保護者用(100名)

今期も幼児クラブの保護者だけでなく、一般利用者(幼稚園児・保育園児・小学生の保護者など)にもアンケートを実施しました。より多くの利用者からアンケートをいただくことで、幅広い層からさまざまな意見・ご要望をいただくことができました。「雰囲気がとても良い」「年の離れた子どもたちと一緒に楽しめる場所がなかなか無い。児童館は本当に助かっています。」「色々とイベントがあって多年齢で遊べるのも助かります(姉弟がいるので)」「小さい子や年中～も遊べるおもちゃの種類が多く助かります！(1歳と5歳、それぞれ両方で楽しめるので)他の所はレゴとかカードゲームとかボードゲームは小学生～となっていて年少～は遊びづらかったのがありがたいです！」「小学生ぐらいのお兄さん・お姉さんと一緒にいることもありますが、5歳の娘に転がったおもちゃを拾ってくれたりゆずってくれたり、児童館全体の雰囲気がいいなと思いました。」「休日に来ると小学生も多くて時々びっくりします。小さい子と大きい子と同じ部屋で遊ぶこともあるけど、意外と危なかしさはないので安心です。」など好評の意見を多くいただきました。児童館を必要としていただけることや、年齢を越えて遊べる居場所だと思っていただいていることがとても嬉しく思いました。これからも皆様に満足していただける児童館になるよう努めて参ります。またどの意見も真摯に受け止め、改善できることは素早く対応していきます。

・児童用(100名)

子どもたちのニーズを理解し、より心地よい児童館になるよう多くの子どもたちからアンケートをいただくことができました。その結果子どもたちの気持ちを知ることができました。今回も自由来館の子どもたちが何を求めて児童館に来るのか知りたくて「なぜ児童館に来たのか」という項目を入れました。「ひまだから(14人)」が1番多く、児童館に行けば誰か(友だち・職員・ボランティアなど)がいるから行ってみようと思ってもえ、児童館の居場所という機能が役立っているのを感じました。次に「楽しいから(13人)」その他気になった意見は「みんなで仲良くできるし他の学校の子と仲良くなれるから」「友だちがいっぱいいるから、ママが仕事でいないから」「友だちがいると思った」「なんか楽しそうだな…と思った」「行きやすいしみんながおるから(友だち)」「お母さんが家にいないとき」など 友だちという言葉が多いのを知り、ここにこれば誰かいると子どもたちは思っていることがわかりました。また親さんがいないときに利用していることがわかり、安心できる居場所になっていることもわかりました。

好きなところでは「いろいろな人と仲良くなれるいろいろな人と遊べる所」「全部好き」「無料」「みんな優しいことと、私の居場所であること」など全ての意見に児童館の機能が生かされていると思いました。児童館は年齢を超えて遊べる唯一の場所だと考えます。幼児～いろんな大人(職員・ボランティア)がいます。

子どもたちがたくさんの人と関わり、遊びを通して成長できる場所であり続けたいと思います。

またどの意見も真摯に受け止め、改善できることは素早く対応していきます。

・絵本についてのアンケート(再掲①③④⑤⑥)

幼児の保護者78名に実施しました。

「おすすめ絵本・読んでみたい絵本シリーズ」

「こんな本があったら嬉しいシリーズ」

「子どもが喜んでくれた絵本・アドバイスシリーズ」の項目で実施しました。

今年度はその中からセレクトして10冊購入しました。来年度もアンケートを参考にして購入していきます。

□広範で適切な情報提供・広報活動の実施(情報公開、広報の方策②)

・小学校から児童センターの見学(再掲②⑥⑬)

「則武小学校・早田小学校・城西小学校の2年生」が授業で行われる地域の公共施設の見学にみえました。児童センターの活動を紹介したり、ゲームや工作などを行い児童センターの楽しさを伝えました。

見学の後、城西小学校の子たちがたくさん遊びに来てくれるようになりました。

・インスタグラムによる広報宣伝活動(再掲②⑥)

今年度から新たにタブレット端末を活用したインスタグラムを始めました。このインスタグラムを導入したことにより、多様な手段で幅広い年齢層に、スピーディーに情報を提供できることとなりました。下半期には、動画や音楽などを活用し、より親しみやすいインスタグラムを提供するための研修会を2回開催しました。(下半期投稿回数40回、フォロワー121人)

・全児童館・児童センターの案内をおたよりに掲載(再掲②⑥)

毎月発行している乳幼児と保護者向けおたよりの裏面に、岐阜市内すべての児童館・児童センターの所在地を地図上で記載しました。これにより、普段利用している児童館以外の児童館を知っていただくきっかけとなりました。

・「ツナグテ」利用者へのPR(再掲②⑥)

毎月発行するおたよりに「ツナグテ」のチラシ受けに置いていただき、「ツナグテ」の利用者にも日光児童センターのPRを行うことができました。

・保健センター日光地区(島・城西・早田・則武)未就園児子育て情報誌に掲載

今年度から児童センターの幼児クラブの活動を載せていただけ情報を提供できました。

・4地区合同赤ちゃんクラブでのPR

移動児童館で参加した際、幼児クラブの活動や行事などの情報を提供しました。・おたよりの配布
幼稚園・保育園・小中学校・特別支援学校・コミュニティセンターなど16カ所に毎月おたよりを配布し情報を提供しました。

・鷺山校区、城西校区でのPR

親子ふれあい教室の移動児童館に参加した際、幼児クラブの活動や行事などの情報を提供しました。

・ホームページでの情報提供

ホームページの更新、最新情報を提供しました。(下半期更新回数20回)

□業務改善や工夫(効果性③)

・絵本についてのアンケート(再掲①③⑤⑥)

幼児の保護者78名に実施しました。

「おすすめ絵本・読んでみたい絵本シリーズ」

「こんな本があったら嬉しいシリーズ」

「子どもが喜んでくれた絵本・アドバイスシリーズ」の項目で実施しました。

今年度はその中からセレクトして10冊購入しました。来年度もアンケートを参考にして購入していきます。

・幼児クラブの見直し(再掲③⑥)

1学期1クラス15人だった定員数を1クラス20人に増やしました。

1学期の1歳児の幼児クラブの参加者が多かったので1歳児クラスを2クラスから3クラスに増やしました。

0歳児クラスに学期に1回保健師に来ていただき2学期ー「赤ちゃんの睡眠」3学期ー「妊婦・乳幼児のための災害対策」のお話を聞き、育児に悩んでみえる方に寄り添えるように努めました。その後育児相談もしていただきました。

・人気のある小学生行事の開催(再掲③⑤⑥)

人気のある「ドッジボール」「カロム」などの行事を多く取り入れるようにしました。カロム大会に向け毎日のように練習にくる子どもたちがいました。好きなことをみつけ一生懸命練習する姿はとても素敵で、みるみるうちに上達していききました。勝って達成感や成功体験を感じたり負けて悔しい思いをしたりカロムという遊びからいろんな学びを体験していることを感じました。

・将棋で遊ぼうの開催(地域ボランティア)(再掲③④⑭⑮)

今年度も地域の方に先生をお願いして、毎月2回～3回将棋を教えていただきました。これからも地域の方やボランティアと一緒に子どもたちを見守っていききたいと思います。

・英語で遊ぼうの開催(地域ボランティア)(再掲③⑭⑮)

今年度も地域の外国人講師に来ていただき、英語を身近に感じてもらうとう「ハロウィンで遊ぼう」を開催しました。将棋の先生と一緒に子どもたちを心から受け止めてくださる先生なので毎回子どもたちが喜んで参加しています。地域ボランティアの先生から私たち職員は学ぶ所がたくさんあることを感じました。いろんな方の力をお借りして誰もが輝ける児童館を目指していきたいです。

・サイエンスショーの開催

令和4年度から2回/年、各児童館で開催しているサイエンスショーの内容について、これまでの開催経験を踏まえ、「子ども参加型で、実験・体験・驚きを感じられるもの」、「華やかさ・わくわく感が感じられるもの」など各施設からの要望に沿った内容のショーを開催し、子どもたちが驚き・どよめき、科学に対する興味・関心を高めることができました。

・大学生のお兄さんに勉強を教えてもらう開催

今年度も子どもたちの学習支援になるよう岐阜大学の学生に勉強を見てもらいました。今期も定員なしで行い宿題や問題集などを教えていただきました。

・リサイクル活用の取り組み(再掲③⑨)

おもちゃや本の寄付があり、きれいにリサイクル活用しています。寄附していただく物はほんとうにきれいです。大切に使われていたことがわかります。「子どもが使っていた物がまたここで子どもたちに使ってもらえて本当にうれしい」と言われ新品のようにきれいなおもちゃをたくさん持ってきてくれた方がみえました。こちらが感謝することなのに感謝され、喜んでもらえる嬉しい限りです。子どもたちや保護者の方からも新しいおもちゃがあるととても喜んで使っていただけているのでとても良い繋がりになっています。

・自由遊び(再掲③⑤⑥)

毎月行っている幼児向け自由参加のクラブの内容を、既存の遊具を使った遊びから「作って遊ぼう」と創造性を使った内容に変更した所、参加者が増えてきました。とても楽しみに毎月参加してくださる親子さんもみえます。

□新規事業(行事)等の実施(効果性③)

・小学生講師おりがみ講座の開催

おりがみが得意な小学生が児童館行事を企画し開催してくれました。今期は2回開催することができました。(2回とも講師になった小学生は違う子)

この子たちは常連で、週の半分以上また毎日児童館にきてくれています。始めは「遊んで遊んで」とせがんでいた子が自分から何かをやりたいという気持ちになりました。その気持ちを受け止め次に繋げていくことができました。保護者の方や学校の先生がそのおたよりを見て応援してくださったと聞きました。また当日担任の先生が来てくださり子どもたちを見守り、褒めてくださいました。それがさらに自信に繋がったと思います。3月号のおたよりをみたり、行事に参加した子たちから「私も僕もやりたい」とオファーをいただいています。4月は子どもの行事を2回企画し行う予定です。

・あきまつりの開催(再掲③④)

子どもボランティアを募集し子どもたちが企画から準備・当日のお店屋さんまでを担当し行いました。

10月にメンバーとお店を決め、来館時に品物作りなどを行い11月の当日1週間前に集まり最終確認と打ち合わせを行いました。

中学生・大人ボランティア・母親クラブの協力もあり当日はとてもスムーズに楽しく行うことができました。

この体験が子どもたちの自信に繋がり、友だちの輪が広がった子・ボランティアをやりたい子・自分で行事を企画したい子どもたちが出て来て、自分の気持ちを表現できるようになりました。この気持ちを受け止め応援していきたいと思います。

・ケン玉ショーの開催(講師)

岐阜大学の学生に講師を依頼しけん玉ショーを開催しました。この学生は世界大会にも出場経験があり、普段見られない技の披露など子どもも大人も目を輝かせて見ていました。参加した子どもたちに実技指導もあり、とても充実した時間が過ごせました。

・はるまつりの開催(再掲③④⑭⑮)

未就園児対象に母親クラブ・主任児童委員・大人ボランティア・岐阜清流中学校の子どもたちと協力し行いました。前年度はコロナの関係で「ミニはるまつり」でしたが、今期は通常通りの「はるまつり」を開催しました。品物作りから準備・当日のお店屋さんまでとても楽しそうに参加していました。中学生の子どもたちの感想「楽しかった」「うまく接客できた」「良かったんじゃないかと思う」「雰囲気良かった」「またやりたい」「子どもが可愛かった」と前向きな嬉しい感想をいただきました。子どもたちがやりたいことに出会えるような支援をこれからも続けていきたいです。

・お父さんと遊ぼう(再掲③⑤⑥)

3歳以上就学前の子どもを対象に父親と子どもの思い出作りとして手形アートを行いました。幼稚園や保育園に通っている年齢の子は参加できる児童館の行事が少ないため今回はその年齢の子を中心に企画しました。これからも幅広い行事を企画していきたいです。

・落語を聴く会(講師)

日本の伝統芸能を子どもたちに伝えたいと企画しました。子どもでも楽しく聞けるお話をさせていただき子どもも大人も笑いありで楽しい時間が過ごせ、落語というものに興味を持った子どももいました。

・みんなで楽しく体を動かそう(講師)(母親クラブ共催)(再掲③⑮)

前期に大好評だったはなぞの幼稚園の人気体育教諭に講師を依頼し開催しました。前回申し込みができなかった子どもや親からのリクエストがあり開催に至りました。今期は子どものレクリエーションと保護者向け講座も行いました。子どもたちの気持ちが1つになり、とても楽しんで参加している姿をみてとても勉強になりました。これからも地域にいらっしゃる素敵な講師を見つけ活動を企画していきたいです。

・クリスマスキラキラバルーン作り(母親クラブ共催)(講師)(再掲③⑭)

母親クラブの企画で、今期は講師の先生をお願いしクリスマスに「キラキラバルーン作り」を開催しました。第1部と第2部の2回に分けたくさんの子どもたちに参加してもらえるように企画しました。とてもきれいでかわいいバルーンができあがり、子どもたちはとても喜んでいました。これからも新しい企画を行っていききたいです。

・リトミック(幼児クラブ)(講師)(再掲③⑮)

地域の講師に依頼し幼児クラブ(5回)・ベビータイムにリトミックをお願いしました。リトミックに興味のある方が多いので、幼児クラブの予定に「リトミック」が入っていることをとても喜んでみえました。きれいな音楽や絵本に子どもたちは夢中になっていました。

・公園で遊ぼう(移動児童館)(再掲③⑤)

地域の方に手作りの竹とんぼをたくさんいただいたので「公園で竹とんぼを飛ばそう」と行事を企画しました。外で伸び伸びと遊べるため、子どもたちは大喜びでした。来期は竹とんぼを作ってくれた地域の方も巻き込み一緒にできるように企画していきたいです。また依頼を待つだけでなく、こちらから出かけて行くことも移動児童館の企画の中に取り入れていきたいです。

・ボランティア行事

今期もボランティアが「ドッジボールで遊ぼう」「キックベースで遊ぼう」「クイズ大会」「福笑い」「モルックで遊ぼう」を企画し開催しました。ボランティアさんは子どもたちの心を受け止めて思いっきりとことん付き合ってくれるので子どもたちから大人気です。「今度はいつくるのか?」と待ち遠しいようです。

・中学生ボランティアの活動(再掲③⑭)

日頃から児童センターのボランティアに主体的に来てくれる子たちがいます。今期も行事の準備から当日のお手伝いまで行ってくれました。

「福笑い」「ケン玉ショー」「あきまつり」「サイエンスショー」など

また児童センターの後片付け・清掃・子どもの遊び相手もしてくれとても助かっています。(40回)

◎子どもたちの主体的な活動の場、話し合いの機会等の提供を行ったか。

・小学生講師おりがみ講座の開催

おりがみが得意な小学生が児童館行事を企画し開催してくれました。今期は2回開催することができました。(2回とも講師になった小学生は違う子)

この子たちは常連で、週の半分以上また毎日児童館にきてくれています。始めは「遊んで遊んで」とせがんでいた子が自分から何かをやりたいという気持ちになりました。その気持ちを受け止め次に繋げていくことができました。保護者の方や学校の先生がそのおたよりを見て応援してくださったと聞きました。それがさらに自信に繋がったと思います。3月号のおたよりをみたり、行事に参加した子たちから「私も僕もやりたい」とオファーをいただいています。4月は子どもの行事を2回企画し行う予定です。

あきまつりの開催(再掲③④)

子どもボランティアを募集し子どもたちが企画から準備・当日のお店屋さんまでを担当し行いました。

10月にメンバーとお店を決め、来館時に品物作りなどを行い11月の当日1週間前に集まり最終確認と打ち合わせを行いました。

中学生・大人ボランティア・母親クラブの協力もあり当日はとてもスムーズに楽しく行うことができました。

この体験が子どもたちの自信に繋がり、友だちの輪が広がった子・ボランティアをやりたい子・自分で行事を企画したい子どもたちが出て来て、自分の気持ちを表現できるようになりました。この気持ちを受け止め応援していきたいと思います。

・中学生ボランティアの活動

日頃から児童センターのボランティアに主体的に来てくれる子たちがいます。今期も行事の準備から当日のお手伝いまで行ってくれました。

「福笑い」「ケン玉ショー」「あきまつり」「サイエンスショー」など

また児童センターの後片付け・清掃・子どもの遊び相手もしてくれとても助かっています。(40回)

・はるまつりの開催(再掲③④⑭⑮)

未就園児対象に母親クラブ・主任児童委員・大人ボランティア・岐阜清流中学校の子どもたちと協力し行いました。前年度はコロナの関係で「ミニはるまつり」でしたが、今期は通常通りの「はるまつり」を開催しました。品物作りから準備・当日のお店屋さんまでとても楽しそうに参加していました。中学生の子どもたちの感想「楽しかった」「うまく接客できた」「良かったんじゃないかと思う」「雰囲気良かった」「またやりたい」「子どもが可愛かった」と前向きな嬉しい感想をいただきました。子どもたちがやりたいことに会えるような支援をこれからも続けていきたいです。

□利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応、運営への反映(効果性④)

・利用者アンケートでのご意見

利用者アンケートでご意見をいただいた内容について、館の運営に反映できるものはすぐに実行・改善しました。

また、実行できないものについては実行できない理由を説明し、ご理解をいただけるよう務めました。

・保護者用アンケート

今期のアンケートの満足度調査では、〈職員について〉の3項目(あいさつ、言葉づかい、利用者対応)の「満足」と「ほぼ満足」の合計の平均は97%と、高い満足度評価をしていただきました。

〈施設について〉の4項目(利用しやすさ、整理整頓、清潔感、換気)では、利用しやすさ、整理整頓、清潔感の「満足」と「ほぼ満足」の合計の平均は94.2%と高い満足度評価をしていただきました。これからも利用者に満足していただけるよう温かい心で精一杯務めていきます。

・児童用アンケート(再掲①④)

児童館の好きなところは「いろいろな人と仲良くなれる」「いろいろな人と遊べる所」「全部好き」「無料」「みんな優しいことと、私の居場所であること」など全ての意見に児童館の機能が活かされていると思いました。

これからも子どもたちが安心して楽しく遊べる児童センターで在り続けていきたいと思っています。

・絵本についてのアンケート(再掲①③④⑤⑥)

幼児の保護者78名に実施しました。

「おすすめ絵本・読んでみたい絵本シリーズ」

「こんな本があったら嬉しいシリーズ」

「子どもが喜んでくれた絵本・アドバイスシリーズ」の項目で実施しました。

今年度はその中からセレクトして10冊購入しました。来年度もアンケートを参考に購入していきます。

◎配慮を必要とする子どもへ適切な対応を行ったか。

・子どもの居場所づくりの推進(再掲④⑬⑭⑮)

今年度から岐阜市内中学校5校で始められた「校内フリースペース」の一環として、児童館を不登校児童生徒の居場所としての活用の提案を行い、日光児童センターを活用していただいています。今後、他の児童センターにおいても「校内フリースペース」としての活用に協力していきます。

あきまつりの開催(再掲③④)

子どもボランティアを募集し子どもたちが企画から準備・当日のお店屋さんまでを担当し行いました。

10月にメンバーとお店を決め、来館時に品物作りなどを行い11月の当日1週間前に集まり最終確認と打ち合わせを行いました。

中学生・大人ボランティア・母親クラブの協力もあり当日はとてもスムーズに楽しく行うことができました。

この体験が子どもたちの自信に繋がり、友だちの輪が広がった子・ボランティアをやりたい子・自分で行事を企画したい子どもたちが出て来て、自分の気持ちを表現できるようになりました。この気持ちを受け止め応援していきたいと思います。

・はるまつりの開催(再掲③④⑭⑮)

未就園児対象に母親クラブ・主任児童委員・大人ボランティア・岐阜清流中学校の子どもたちと協力し行いました。前年度はコロナの関係で「ミニはるまつり」でしたが、今期は通常通りの「はるまつり」を開催しました。品物作りから準備・当日のお店屋さんまでとても楽しそうに参加していました。中学生の子どもたちの感想「楽しかった」「うまく接客できた」「良かったんじゃないかと思う」「雰囲気良かった」「またやりたい」「子どもが可愛かった」と前向きな嬉しい感想をいただきました。子どもたちがやりたいことに会えるような支援をこれからも続けていきたいです。

・将棋で遊ぶの開催（地域ボランティア）（再掲③④⑭⑮）
 今年度も地域の方に先生をお願いして、毎月2回～3回将棋を教えていただきました。
 これからも地域の方やボランティアと一緒に子どもたちを見守っていききたいと思います。

・学校との連携（再掲④⑬⑭）
 配慮が必要な児童の様子など小学校や中学校と情報共有し見守っています。則武小・早田小・清流中学校の校長先生の
 携帯番号を教えていただき必要なときは電話やメールで連絡を取り合い対応しました。
 また岐阜清流中学校の校長先生と支援が必要な子どもたちの情報共有をし見守りました。

・事務室を開放しているので子どもたちとのコミュニケーションスペースになっています。家庭・学校・友だちのことなど話
 てくれます。また進路相談・恋愛相談・両親の相談をしにきてくれる子もいます。児童館がこれからも子どもたちの居場所
 で在り続けていけるよう努めていきます。

・今後も配慮を要する子どもたちを長期的に見てその子が成長できるように職員は今以上に意識して子どもたちを支援し
 ていきます。

・他施設の事例研究
 当事業団が管理する児童館・児童センター9館の所長会で、他施設で実際に起きた事例を研究し、配慮を必要とする子ど
 もが利用された際、どの施設でも適切に対応できるようにしました。

□利用促進や利用者増に繋がる方策の実施（効果性⑥）
 ・Instagramによる広報宣伝活動（再掲②⑥）
 今年度から新たにタブレット端末を活用したInstagramを始めました。このInstagramを導入したことにより、多様な
 手段で幅広い年齢層に、スピーディーに情報を提供できることとなりました。下半期には、動画や音楽などを活用し、より親
 しみやすいInstagramを提供するための研修会を2回開催しました。（下半期投稿回数40回、フォロワー121人）

・「ツナグテ」利用者へのPR（再掲②⑥）
 毎月発行するおたよりを「ツナグテ」のチラシ受けに置いていただき、「ツナグテ」の利用者にも黒野児童館のPRを行うこと
 ができました。

・全児童館・児童センターの案内をおたよりに掲載（再掲②⑥）
 毎月発行している乳幼児と保護者向けおたよりの裏面に、岐阜市内すべての児童館・児童センターの所在地を地図上で
 記載しました。これにより、普段利用している児童館以外の児童館を知ってもらうきっかけとなりました。

・幼児クラブ申し込み連携
 登録制幼児クラブで定員を上回る応募があり、残念ながら抽選に漏れてしまった方に対して、他館の幼児クラブに空きが
 ある場合、幼児クラブを紹介できる体制を構築しました。

・団体利用（再掲⑤⑥⑭）
 ・今期も「GIFUシングルマザー＆ファザーのホットサロン」の会が隣接するコミュニティーセンターで行われました。ひとり親
 cheersの方たちが団体利用で児童館を利用し子どもたちを預かってみえました。「ここは子どももスタッフも安心できる場所
 なのでもとても助かります。」と喜ばれていました。

ひとり親cheers－2回
 ・今年度立ち上がった自主サークルの「則武ママの会」「則武キッズ」の方たちが利用されました。児童センターの遊具も貸
 出し地域の子育てを頑張る母親たちの応援ができるようこれからも務めていきます。

則武ママの会－2回 則武キッズ－2回
 ・Gツイズ（双子さんサークル）の方たちの利用がありました。児童センターの遊具を貸出し楽しく活動をしていました。

・早田校区の自主サークルの立ち上げの時に利用されました。

・ラビットキッズの利用があり、遊戯室で楽しく遊ばれていきました。

子どもたちに関係するいろんな団体の方に利用していただけることで児童センターを知っていただけた児童館の役割も広が
 るように思いました。

・大人のボランティアの存在（再掲⑥⑦）
 日光児童センターに定期的に来ていただいている大人のボランティアの方々が見えます。この方たちは行事を企画したり、
 お手伝いをしてくれたりすることはもちろん、普段の子どもたちの遊び相手になってくれます。勉強・恋愛・学校のことなど親
 身に話をきいてくれたり、掃除・片付けなども手伝ってくれます。定期的にきてくれる方が3人程見えますが、それぞれの
 特技を生かして行事を企画したり子どもをそのまま受け止めてくれます。日光児童センターでは大きな存在であり小学生・
 中学生からも大人気です。ボランティアと遊びたい・話したいと来てくれる子もたくさんいます。職員とは違う素敵な大人が
 たくさんいることはいろんな人に関わる経験もできるし、いろんな遊びを教えてもらえるしとにかく楽しい！職員だけでなく
 ろんな素敵な人たちと関わるような体制を今後も取っていきたいです。

10月～3月－67回来てくれました。

・絵本の購入（再掲①③④⑤⑥）
 幼児の保護者78名に絵本についてのアンケートを実施しました。
 「おすすめ絵本・読んでみたい絵本シリーズ」
 「こんな本があったら嬉しいなシリーズ」
 「子どもが喜んでくれた絵本・アドバイスシリーズ」の項目で実施しました。
 今年度はその中からセレクトして10冊購入しました。来年度もアンケートを参考にして購入していきます。

・幼児クラブの見直し（再掲③⑥）
 1学期1クラス15人だった定員数を1クラス20人に増やしました。
 1学期の1歳児の幼児クラブの参加者が多かったので1歳児クラスを2クラスから3クラスに増やしました。

0歳児クラスに学期に1回保健師さんに来ていただき2学期－「赤ちゃんの睡眠」3学期－「妊婦・乳幼児のための災害対
 策」のお話を聞き、育児に悩んでみる方に寄り添えるようその後育児相談もしていただきました。

・自由遊び（再掲③⑤⑥）
 毎月行っている幼児向け自由参加のクラブの内容を、既存の遊具を使った遊びから「作って遊ぶ」と創造性を使った内容
 に変更した所、参加者が増えました。とても楽しみに毎月参加して下さる親子さんもみえます。

・お父さんと遊ぶ（再掲③⑤⑥）
 3歳以上就学前の子どもを対象に父親と子どもの思い出作りとして手形アートを行いました。幼稚園や保育園に通っている
 年齢の子は参加できる児童館の行事が少ないため今回はその年齢の子を中心に企画しました。これからも幅広い行事を
 企画していきたいです。

・人気のある小学生行事の開催（再掲③⑤⑥）
 人気のある「ドッジボール」「カロム」などの行事を多く取り入れるようにしました。カロム大会に向け毎日のように練習にくる
 子どもたちがいました。好きなことをみつけ一生懸命練習する姿はとても素敵で、みるみるうちに上達していきました。勝っ
 て達成感や成功体験を感じたり負けたり悔しい思いをしたりカロムという遊びからいろんな学びを体験していることを感じまし
 た。

□職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加（安定性安全性⑫）
 ・不審者対策研修会（再掲⑫⑬）
 11月：岐阜中警察署員・長森児童センター

・虐待防止研修会(再掲⑫⑬)

11月: エールぎふ職員・ドリームシアター岐阜共催

2月: 岐阜市役所人権啓発センター職員・ドリームシアター岐阜共催

・職員スキルアップ研修会(6月～1月、6回/年開催、下半期は3回開催) 各児童館・児童センター職員1名以上が参加

10月: 小学生向け工作メニュー・黒野児童館 10名参加

11月: 大人(母親クラブ)向け行事メニュー・東児童センター 10名参加

1月: ものづくり講座・ドリームシアター岐阜2回開催 合計17名参加

・インスタグラム研修会

11月: 「WhatisSNS」・講師: シネマトグラファー 11名参加

2月: 各施設の疑問・質問の解決に向けて 10名参加

□危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備(安定性安全性⑬)

・災害対策マニュアル ・危機管理マニュアル

・不審者対応マニュアル ・地震防災マニュアル

・緊急地震速報受信時対応マニュアル

・病害虫防除マニュアル ・食中毒・感染症等対応マニュアル

・社会福祉施設避難確保計画(対象災害: 水害(洪水))

0歳児クラスに学期に1回保健師に来ていただき2学期-「赤ちゃんの睡眠」3学期-「妊婦・乳幼児のための災害対策」のお話を聞き、育児に悩んでみえる方に寄り添えるように努めました。その後育児相談もしていただきました。

リスク防止策の実践

・虐待防止委員会の開催

当事業団児童館・児童センター所長9名による虐待防止委員会児童部門を開催。各施設での事例を参考に虐待防止に向けた対応策について研究しました。

・虐待防止研修会の開催(再掲⑫⑬)

虐待防止研修会を開催し、児童館・児童センター職員として子どもの虐待防止に向けた適切な対応ができるよう取り組みました。また、この研修内容をビデオで児童館全職員が見ることで、共通理解、共通認識を取ることができました。

11月: エールぎふ職員・ドリームシアター岐阜共催

2月: 岐阜市役所人権啓発センター職員・ドリームシアター岐阜共催

・不審者対策研修会(再掲⑫⑬)

長森児童センターを会場に警察官が不審者役となり、不審者が施設に侵入した際の職員が取るべき行動、利用者の安全確保をいかに行うかなどについて学びました。

11月: 岐阜中警察署員・長森児童センター

・合同避難訓練の実施

日光児童センターはコミュニティセンター・日光事務所との複合施設であることから、合同で避難訓練を実施しています。火災の際の避難誘導をより迅速・的確に行う必要があり、職員一人ひとりの日頃の準備が大切です。

・電子メールの誤送信対策の徹底

黒野児童館では、メールアドレスを他者に漏洩することがないよう電子メールを使用して一斉配信をする際は、自動的にBCCに変換できるソフトを導入し、対策しています。

・子どもの居場所づくりの推進(再掲④⑬⑭⑮)

今年度から岐阜市内中学校5校で始められた「校内フリースペース」の一環として、児童館を不登校児童生徒の居場所としての活用の提案を行い、日光児童センターを活用していただいています。今後、他の児童センターにおいても「校内フリースペース」としての活用に協力していきます。

・学校との連携(再掲④⑬⑭)

配慮が必要な児童の様子など小学校や中学校と情報共有し見守っています。則武小・早田小・清流中学校の校長先生の携帯番号を教えていただき必要ときは電話やメールで連絡を取り合い対応しました。

また岐阜清流中学校の校長先生と支援が必要な子どもたちの情報共有をし見守りました。

・子ども110番の家の登録(再掲⑬⑮)

子どもが助けを求めた際、その子どもを保護し、必要により警察、学校、家庭などへ連絡するなど、地域ぐるみで子どもたちの安全を守るため、子ども110番の家に登録しています。

・職員による施設の安全点検、おもちゃ点検を毎月実施しました。

・コロナ感染等により、施設職員が一定期間出勤できない状況が起きた際でも、施設業務に支障がないよう、事務局職員や他児童館職員が応援できる体制としました。

地元の諸団体との連携、交流

・子どもの居場所づくりの推進(再掲④⑬⑭⑮)

今年度から岐阜市内中学校5校で始められた「校内フリースペース」の一環として、児童館を不登校児童生徒の居場所としての活用の提案を行い、日光児童センターを活用していただいています。今後、他の児童センターにおいても「校内フリースペース」としての活用に協力していきます。

・はるまつりの開催(再掲③④⑭⑮)

未就園児対象に母親クラブ・主任児童委員・大人ボランティア・岐阜清流中学校の子どもたちと協力し行いました。前年度はコロナの関係で「ミニはるまつり」でしたが、今期は通常通りの「はるまつり」を開催しました。品物作りから準備・当日のお店屋さんまでとても楽しそうに参加していました。中学生の子どもたちの感想「楽しかった」「うまく接客できた」「良かったんじゃないかと思う」「雰囲気良かった」「またやりたい」「子どもが可愛かった」と前向きな嬉しい感想をいただきました。子どもたちがやりたいことに会えるような支援をこれからも続けていきたいです。

・学校との連携(再掲④⑬⑭)

配慮が必要な児童の様子など小学校や中学校と情報共有し見守っています。則武小・早田小・清流中学校の校長先生の携帯番号を教えていただき必要ときは電話やメールで連絡を取り合い対応しました。

また岐阜清流中学校の校長先生と支援が必要な子どもたちの情報共有をし見守りました。

・団体利用(再掲⑤⑥⑭)

・今期も「GIFUシングルマザー＆ファザーのホットサロン」の会が隣接するコミュニティセンターで行われました。ひとり親cheersの方たちが団体利用で児童館を利用し子どもたちを預かってみえました。「ここは子どももスタッフも安心できる場所なのでとても助かります。」と喜ばれていました。

ひとり親cheers-2回

・今年度立ち上がった自主サークルの「則武ママの会」「則武キッズ」の方たちが利用されました。児童センターの遊具も貸出し地域の子育てを頑張る母親たちの応援ができるようこれからも務めていきます。

則武ママの会－2回 則武キッズ－2回

・Gツインズ(双子さんサークル)の方たちの利用がありました。児童センターの遊具を貸出し楽しく活動をしていました。

・早田校区の自主サークルの立ち上げの時に利用されました。

・ラビットキッズの利用があり、遊戯室で楽しく遊ばれていけました。

子どもたちに関係するいろんな団体の方に利用していただけることで児童センターを知っていただければ児童館の役割も広がるように思いました。

・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用

当法人内の就労継続支援B型事業所による施設清掃を実施しました。(再掲)

・おもちゃ病院(再掲⑨⑭)

おもちゃ病院に壊れたおもちゃを修理していただき使用しました。 10月～3月－35点

・クリスマスキラキラバルーン作り(母親クラブ共催)(講師)(再掲③⑭)

母親クラブの企画で、今期は講師の先生をお願いしクリスマスに「キラキラバルーン作り」を開催しました。第1部と第2部の2回に分けたくさんの子どもたちに参加してもらえるように企画しました。とてもきれいでかわいいバルーンができあがり、子どもたちはとても喜んでいました。これからも新しい企画を行ってまいります。

・将棋で遊ぼうの開催(地域ボランティア)(再掲③④⑭⑮)

今年度も地域の方に先生をお願いして、毎月2回～3回将棋を教えていただきました。

これからも地域の方やボランティアと一緒に子どもたちを見守っていききたいと思います。

・英語で遊ぼうの開催(地域ボランティア)(再掲③⑭⑮)

今年度も地域の外国人講師に来ていただき、英語を身近に感じてもらうとうと「ハロウィンで遊ぼう」を開催しました。将棋の先生と一緒に子どもたちを心から受け止めてくださる先生なので毎回子どもたちが喜んで参加しています。

地域ボランティアの先生から私たち職員は学ぶ所がたくさんあることを感じました。いろんな方の力をお借りして誰もが輝ける児童館を目指してまいります。

・中学生ボランティアの活動(③⑭)

日頃から児童センターのボランティアに主体的に来てくれる子たちがいます。今期も行事の準備から当日のお手伝いまで行ってくれました。

「福笑い」「ケン玉ショー」「あきまつり」「サイエンスショー」など

また児童センターの後片付け・清掃・子どもの遊び相手もしてくれとても助かっています。(37回)

・ボランティア行事(③⑭)

今期もボランティアが「ドッジボールで遊ぼう」「キックベースで遊ぼう」「クイズ大会」「福笑い」「モルックで遊ぼう」を企画し開催しました。ボランティアさんは子どもたちの心を受け止めて思いっきりとことん付き合ってくれるので子どもたちから大人気です。「今度はいづるのか?」と待ち遠しいようです。

地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)

・子どもの居場所づくりの推進(再掲④⑬⑭⑮)

・岐阜版アダプトプログラムへの参加

職員が児童館周辺道路の清掃活動を定期的実施する、岐阜版アダプトプログラムに参加しています。

清掃活動は、毎週土曜日の朝全職員で実施しています。

・子ども110番の家の登録(再掲⑬⑮)

子どもが助けを求めた際、その子どもを保護し、必要により警察、学校、家庭などへ連絡するなど、地域ぐるみで子どもたちの安全を守るため、子ども110番の家に登録しています。

地元の団体・住民との協働事業等の実施

・親子ふれあい教室への開催協力

則武地区をはじめ、城西地区・鷺山地区の親子ふれあい教室に移動児童館として訪問し、職員によるさまざまな遊びを体験していただきました。

・小学校から児童センターの見学(再掲②⑥⑮)

「則武小学校・早田小学校・城西小学校の2年生」が授業で行われる地域の公共施設の見学にみえました。児童センターの活動を紹介したり、ゲームや工作などを行い児童センターの楽しさを伝えました。

見学の後、城西小学校の子たちがたくさん遊びに来てくれるようになりました。

・将棋で遊ぼうの開催(地域ボランティア)(再掲③④⑭⑮)

今年度も地域の方に先生をお願いして、毎月2回～3回将棋を教えていただきました。

これからも地域の方やボランティアと一緒に子どもたちを見守っていききたいと思います。

・英語で遊ぼうの開催(地域ボランティア)(再掲③⑭⑮)

今年度も地域の外国人講師に来ていただき、英語を身近に感じてもらうとうと「ハロウィンで遊ぼう」を開催しました。将棋の先生と一緒に子どもたちを心から受け止めてくださる先生なので毎回子どもたちが喜んで参加しています。

地域ボランティアの先生から私たち職員は学ぶ所がたくさんあることを感じました。いろんな方の力をお借りして誰もが輝ける児童館を目指してまいります。

・みんなで楽しく体を動かそう(講師)(母親クラブ共催)(再掲③⑮)

前期に好評だったはなぞの幼稚園の人気体育教諭に講師を依頼し開催しました。前回申し込みができなかった子どもや親からのリクエストがあり開催に至りました。今期は子どものレクリエーションと保護者向け講座も行いました。

子どもたちの気持ちが1つになり、とても楽しんで参加している姿をみてとても勉強になりました。これからも地域に見える素敵な講師を見つけ活動を企画してまいります。

・リトミック(幼児クラブ)(講師)(再掲③⑮)

地域の講師に依頼し幼児クラブ(5回)・ベビータイムにリトミックをお願いしました。リトミックに興味のある方が多いので、幼児クラブの予定に「リトミック」が入っていることをとても喜んでみえました。きれいな音楽や絵本に子どもたちは夢中になっていました。

・はるまつりの開催(再掲③④⑭⑮)

未就園児対象に母親クラブ・主任児童委員・大人ボランティア・岐阜清流中学校の子どもたちと協力し行いました。前年度はコロナの関係で「ミニはるまつり」でしたが、今期は通常通りの「はるまつり」を開催しました。品物作りから準備・当日のお店屋さんまでとても楽しそうに参加していました。中学生の子どもたちの感想「楽しかった」「うまく接客できた」「良かったんじゃないかと思う」「雰囲気良かった」「またやりたい」「子どもが可愛かった」と前向きな嬉しい感想をいただきました。子どもたちがやりたいことに出会えるような支援をこれからも続けていきたいです。

前回までの意見を踏まえた取組み状況	○校内フリースペースを用意し、清流中の学校に行きづらい子が先生と利用できる場所を提供していることは評価できる。 ○近隣の学校と連携して、児童センターをフリースペースとして利用できるようにし、子どもたちの居場所となるよう努めている。 →ありがとうございます。今期も児童センターをフリースペースとして利用してもらっています。また幼児のはるまつりにスタッフとして参加し、品物作りからお店屋さんまで担当してくれました。来期もフリースペースの子どもたちの居場所になるよう努めて参ります。 ○アンケートを保護者・児童とともに100人を超える利用者から回収し、またクラブ参加者だけでなく一般来館の利用者からも多くアンケートを回収するなど、幅広く利用者の声を聞くことができるよう努めている。 →ありがとうございます。たくさんの方からのご意見をいただき、児童センターがより一層地域で安心・安全な居場所になり、たくさんの方に利用していただけるようこれからも努めて参ります。 ○近隣の幼稚園や中学生の先生に講師を依頼し、新規事業を実施するなど、積極的に新規事業を取り入れている。 →ありがとうございます。今期も素晴らしいスキルや知識を持っていらっしゃる地域の方に講師を依頼しました。来期も地域の方々のお力をおかりして新規事業に取り組んで行きたいと思います。
今後の取組み	□居場所作り ・配慮を必要とする児童を受け止め、支援の一端を担っていきます。自立を目指せるような対応や環境作り、周囲との連携を固め居場所や安心感のある児童館を目指します。また各種関係機関との繋がりを強め、体制を強化していきます。 □地域を大事にした活動を進める ・現在も母親クラブの方々や子どもたちの活動の企画・準備・運営をしてくださっています。来期も子どもたちのために何かをしてあげたいという地域の方々や児童館で活動していただけるよう取り組んでいきます。 □初めて来館した母親への支援を重視する ・今の世代の母親や家族に合った子育てに関する情報を職員が勉強しておき、0歳から就園に至るまで長期的に利用してもらえるような支援を目指します。 □ボランティア ・子どもが自主的にお手伝いなどをやりたいという気持ちを受け止め尊重することを日常的に取り組み、主体的に施設運営に携わっているという意識が持てるように取り組んでいきます。 ・子どもスタッフを立ち上げ行事を企画したり、おまつりなどのお手伝いをお願いしていきます。 □学習支援 ・ボランティア・子ども・地域みんなで児童館を盛り上げていけるよう取り組んでいきます。 □職員研修会の充実 ・勉強が苦手・不登校・不登校気味・塾に通えない等さまざまな理由で勉強に対しての意欲がない児童が増えていきます。でも高校には行きたいという思いはありますのでその気持ちに寄り添っていききたいと思います。今期も大学の学生に依頼し勉強を見てもらう行事を実施します。行事だけでなく子どもたちが目標をもてるような学習支援の在り方を考え取り組んで行きたいと思います。 □広報宣伝活動の強化 ・今期も職員スキルアップ研修会を充実させ、幼児向け・小学生向け工作や遊びのメニュー講座などを開催し、職員の事業実施力の向上に努めます。 - また、外部講師による研修会、虐待防止研修会を開催し、リスク対応力を強化します。 □Instagramによる広報宣伝活動を開始し、特に乳幼児を持つお母さん方への広報宣伝活動を強化します。

●所管課の意見

- 幼児クラブの定員やクラスを増やしたり、小学生を講師としたおりがみ講座を実施するなど、業務改善や新規事業に積極的に取り組んでいる。
- 近隣の中学校と連携して、児童センターをフリースペースとして利用できるようにし、子どもたちの居場所となるよう努めている。
- 地域ボランティアによる様々なイベントや、中学生も運営に関わり「はるまつり」を開催するなど、地域と協力して交流事業に取り組んでいる。

●指定管理者評価委員会の意見

所管課の意見のとおり、適切に管理運営されている。

児童館は子どもの居場所としての役割があることから、アンケート等子どもの意見を大切にし、今後も運営に努めて欲しい。

近隣の中学校と連携し、児童センターをフリースペースとして活用できている点が評価できる。

伝統芸能に触れる機会を創出する取り組みが評価できる。

どの児童館でもカロムが人気であることから、児童館対抗のカロム大会など、児童館同士の交流も検討されたい。